

# 令和元年度 第5回 木曽川水系流域委員会 議事要旨

日 時：令和2年2月13日（木）15：00～17：00

場 所：プライムセントラルタワー名古屋駅前店  
13階 第4+5会議室

## 1. 開会

## 2. 挨拶

## 3. 議題

### (1) 木曽川水系河川整備計画変更（案）について

①パブリックコメントで頂いた意見とそれに対する考え方について

②木曽川水系河川整備計画変更（案）について

### (2) 直轄河川改修事業再評価について

### (3) 今後の予定について

### (1) 木曽川水系河川整備計画変更（案）について

① パブリックコメントで頂いた意見とそれに対する考え方について

- ・ 長良川遊水地について遊水地整備が実施されることで現状よりも安全になるということが重要であり、それを住民に理解してもらえようにする必要がある。
- ・ 現在の長良川遊水地整備箇所環境については過去の土地利用の結果としてあるものであり、その変遷を把握した上で、今後どのように利用、管理していくかを考えていくべき。
- ・ レッドリストに該当する希少な動植物だけでなく、現在、我々の周りに当たり前のよう存在している種の重要性についても配慮すべき。
- ・ 「長良川遊水地について」の頁では、意見のあった横越地区のみでなく池尻地区についてもどのような整備をするか示すべき。  
⇒そのように資料を修正する。
- ・ 事業実施に伴い既存施設の移設等が生じた場合には必要な機能を回復させることが前提であることは理解するが、意見への回答として記載すべき。  
⇒そのように資料を修正する。

- ・「【補足】現段階の検討における横越地区遊水地の設計についての考え方」の頁で、現在の断面と越流堤の断面では様子が異なるだろうと思われるため、それぞれの断面について記載をすべき。  
⇒そのように資料を修正する。

- ・ 「地震・津波対策について」の頁の、意見に対する考え方について、具体的に対策内容を示すべき。

## ② 木曾川水系河川整備計画変更（案）について

- ・ 附図に計画諸元縦断図が記載されているが、時点更新していない理由は何か。  
⇒今回の変更については、これまで同様、整備計画策定当時の現況河道（平成14年）に対しての事業メニューとしているため更新をしていない。今後、気候変動への対応も含めた整備計画変更を実施する際に、それら内容について改めて更新の必要性を検討する。

## (2) 直轄河川改修事業再評価について

- ・ 費用対効果分析①人的被害の被害指標で、避難率が40%と設定されているが、これはソフト整備等に避難率が変わることによって費用対効果も変わってくるのではないか。
- ・ 総便益について、前回評価と比較すると評価額が大きく変化しているためその要因について追記をすべき。
- ・ 直轄河川改修事業がどのような事業であるかという説明があるのではないか。
- ・ 社会機能低下被害の被害指標について、医療施設と社会福祉施設を対象に整理しているが、教育施設も整理できるのではないか。

## 4. 閉会

以 上